

平成23年度「ピア・メディエーション講習会」を開催！

— 3日間で延べ72人が熱心に受講 —

茨田高校では、平成18年度からピア・メディエーションを学校教育に取り入れています。

ピア・メディエーションとは、仲間同士で行う紛争解決の手法であり、本校では、様々な取組を進めた結果、生徒間のトラブルを生徒同士で解決した事例が報告されているほか、教員もピア・メディエーションの考え方に基づいた指導を心掛けるようになってきました。

そこで、本校では、夏休み中の毎年8月に、府立学校の教員を対象として「ピア・メディエーション講習会」を開催し、教員の資質向上とピア・メディエーションの普及を図っています。今年度は8月3日～5日の3日間で延べ72名の先生方が熱心に受講されました。

講師は、麗澤大学教授で臨床心理士の水野修次郎先生とNPO法人シヴィルプロネット関西代表で弁護士の津田尚廣先生。水野先生は高校で教鞭をとったこともある実践者であると同時に日米でスクールカウンセラーの経験も持つ斯界の第一人者。津田先生は茨田高校がピア・メディエーション（以下「PM」）を教育の場面に取り入れた当初から支援していただいている先生で、日本におけるPM研究と普及のため日々奔走されている方です。

今回はお二人の講師の他にPMクラブ員や同クラブのOGも招き、PMを学んで良かったこと等について率直に語っていただきました。

本講習会や講義の内容に興味のある方は、茨田高校（06-6911-0001担当：木原雅之・首席）までお問い合わせください。

なお、津田先生の講義資料は、本ホームページのトップページからPDFファイルでダウンロードできますので、ご利用ください。

この講習会の特徴はとにかく実践的であること。今年度も、多様なワークを中心に理論と実践をバランスよく学ぶことができました。

以下、この講習会に参加した先生方の感想を抜粋でご紹介します。

《講習会参加者の感想（抜粋）》

「ピア・メディエーションの教育的効果について」

- ◇PMが学習にも効果があるということがよくわかった。
- ◇正義ではなく協調によって平和を作ることは大切だなと思った。
- ◇校内で発生する事案で、学んだ技法を使ってみたいと思います。

「受講してみて良かったことについて」

- ◇学校に帰ったら、早速、職員研修としてPMを取り上げたい。
- ◇生徒と一緒にワークをやってみたいと思うようになりました。

